

## 第5回 幼児教育・保育部会の質問票での御意見について

番号	意見
1	<p>今後、共働きが増えて、保育のニーズが高まり、特に0～2歳児の定員が不足することが予想される。一方、他の委員がおっしゃるとおり、新しく施設を作るのは今の時代になじまないのので、幼稚園が0～2歳児を預かってくれたり、保育園の0～2歳児の定員を増やすなどの対策をしてほしい。</p>
2	<p>単に定員を増やすのではなく、質も確保してほしい。京都市が独自に行っている保育士への給与UPは引き続き続けるかさらに拡大する等して、県外からも良い先生が来られるように努力してほしい。</p>
3	<p>幼稚園はその良さもあるので、今までのやり方を維持しながら、預かり時間の拡大、長期休暇中の預かり、給食の提供など働く親の目線に立った提供を行えば、今後も引き続き需要はあると思う。</p>
4	<p>病児保育は保育園の拡大と同じく拡充が不可欠。先日、実施施設を利用しようと電話したが、20人待ちと言われて断念した。定員が8人位だから、既に4倍以上のニーズがある。市としては大型病院などに声をかけていただき、早急に整備していただくとともに、当面の対応としては、民間病児保育(1時間1,500円くらい必要)利用者に補助金やバウチャーを支給するなどの対策をすぐにでもとってほしい。</p>